



## 謹 賀 新 年

校長 西田 稔

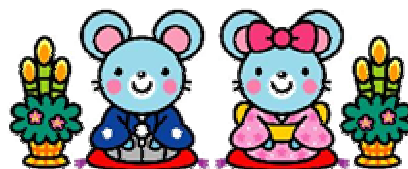
新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

今年の干支は子年、豊かで子孫繁栄めでたいという意が込められているといえます。昨年は「猪突猛進(ちよとつもうしん)」真っ直ぐに突き進むイメージが強い年でしたが、今年は干支子年にちなみ、細やかにそして感性豊かでありながら、何事にも全力でがんばり続け、心身ともに健康で元気に過ごしてほしいと願っています。

さて、学校では今日から後期の後半に入り、それぞれの学年の締めくくりの3ヶ月となります。次の学年に向けて、確かな学力をきちんと身につけさせ、それに伴って必要とされる判断力、思考力、表現力についても個々に対してきめ細かく指導、支援して参りたいと思います。

子どもたちの豊かな成長は、学校と家庭そして運営委員会や本校を支えていただいている方々との協力連携があつてはじめてかなえられます。今年も互いに連携を密にし、子どもたちが益々健やかに育つよう願っています。

今後とも本校の教育に対してご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。新年のご挨拶といたします。



新しい年を迎え、子どもたち一人ひとりが今年のためを持って、学校での生活がスタートしました。そのために向けてがんばっていくためには、健康であることが必要です。健康な体をつくるために本校では2年前から食育指導を取り入れ、食を通して自分の健康を考える指導をしてきました。

後期に入ってから「お弁当を作る親の心」(10月)、「日本各地のお雑煮」(11月)、「世界の食糧事情」(12月)について子どもたちは学習してきました。今年度の食育指導で用いられた資料がブカタリエに掲示してあります。今後も引き続き食育指導を続け、子どもたちが益々健やかに育つよう願っています。



## 今年も健康に気をつけて

～食を通して健康を考える～



## ブカレスト大学との交流会



12月13日(木)はブカレスト大学生との交流会がありました。今回の交流会はルーマニア語ミニ発表会、学年別交流会の2部構成で行われました。

中学部の司会のもと、会は進行されました。ルーマニア語会話ミニ発表会は、ルーマニア語会話のクラス毎に行われました。低学年カルメン先生クラスでは「ルーマニア語の詩の暗唱」、低学年ミハイ先生クラスでは「自己紹介」、中高学年カルメン先生クラスでは、写真を提示しながら「家族紹介」が行われました。また、ミハイ先生の上級クラスでは、「第一次世界大戦時に発行された新聞と、現在の新聞の違い」について、松村先生の日本語に親しもう講座では、日本人作家である「芥川龍之介」についての発表がありました。どの発表も興味深い内容で、日頃の学習の成果を発表できたと思います。また、ブカレスト大学からはソルコバと呼ばれる新年の行事について教えてもらいました。

その後、クラス毎に交流会をおこないました。低学年は折り紙とゲーム、中学年はどら焼き作り、高学年はけん玉や日本の建物クイズをおこない交流を深めました。ルーマニア語が堪能な中学部は各学年のサポートに入りました。ルーマニア語や英語、ときどき日本語を交えながらコミュニケーションをとり、交流を楽しむことができました。今回の交流では、前回の17番学校との交流会を生かした活動ができ、よかったと思います。

もうお気づきの方も多いかと思いますが、図書室には、5台のパーソナルコンピュータと1台のプロジェクターを設置しています。これまで、使用していたパソコン室が手狭になったことから、図書室に集中配置したものです。

そうすることで、教師がプロジェクターを使って資料を提示したり、子どもたちが一齐にインターネットで調べ学習をしたりするなど、多様な形態の授業を効率よく行うことができるようになりました。

今後も「よりわかりやすく、子どもたちが自ら学べるように」を念頭に置きながら、職員間でアイデアを出し合ったり、学校を支えてくださっている皆様のお知恵を拝借したりしながら、本校教育を充実させていきたいと思っています。

## 情報機器の効果的利用



## 編集後記

ブカレストで十数年ぶりの大雪。生活においては何かと不便がありますが、子どもたちは低学年から中学部まで、年齢に関係なく大はしゃぎ。休み時間になると、「おりゃあ〜」「うお〜っ」といった歓声とたくさんの雪玉が校庭を飛び交っています。

上級学年への進級、あるいは上級学校への進学を考える時期となり、この雪のように積もった「学力(学ぼうとする意欲・学ぶ力・学んだ力)」が存分に発揮されるよう、子どもたちを支えていきます。ご支援よろしく願いいたします。